

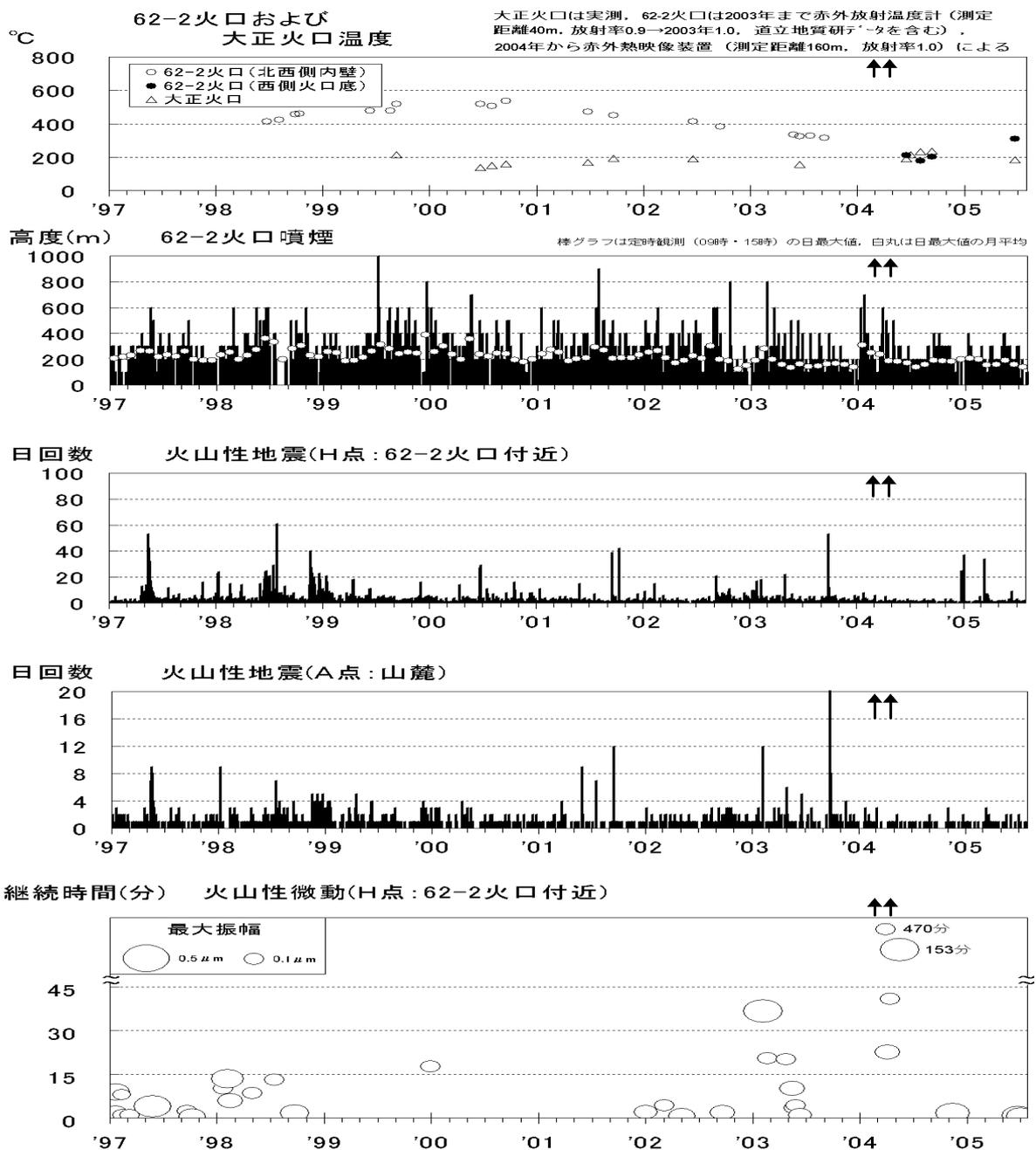
# 十勝岳

## 1 概況

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定されます。7 日には振幅の小さな火山性微動が観測されました。十勝岳の火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

## 2 噴煙の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。噴煙は白色で高さは火口縁上おおむね 200 m で経過しました。



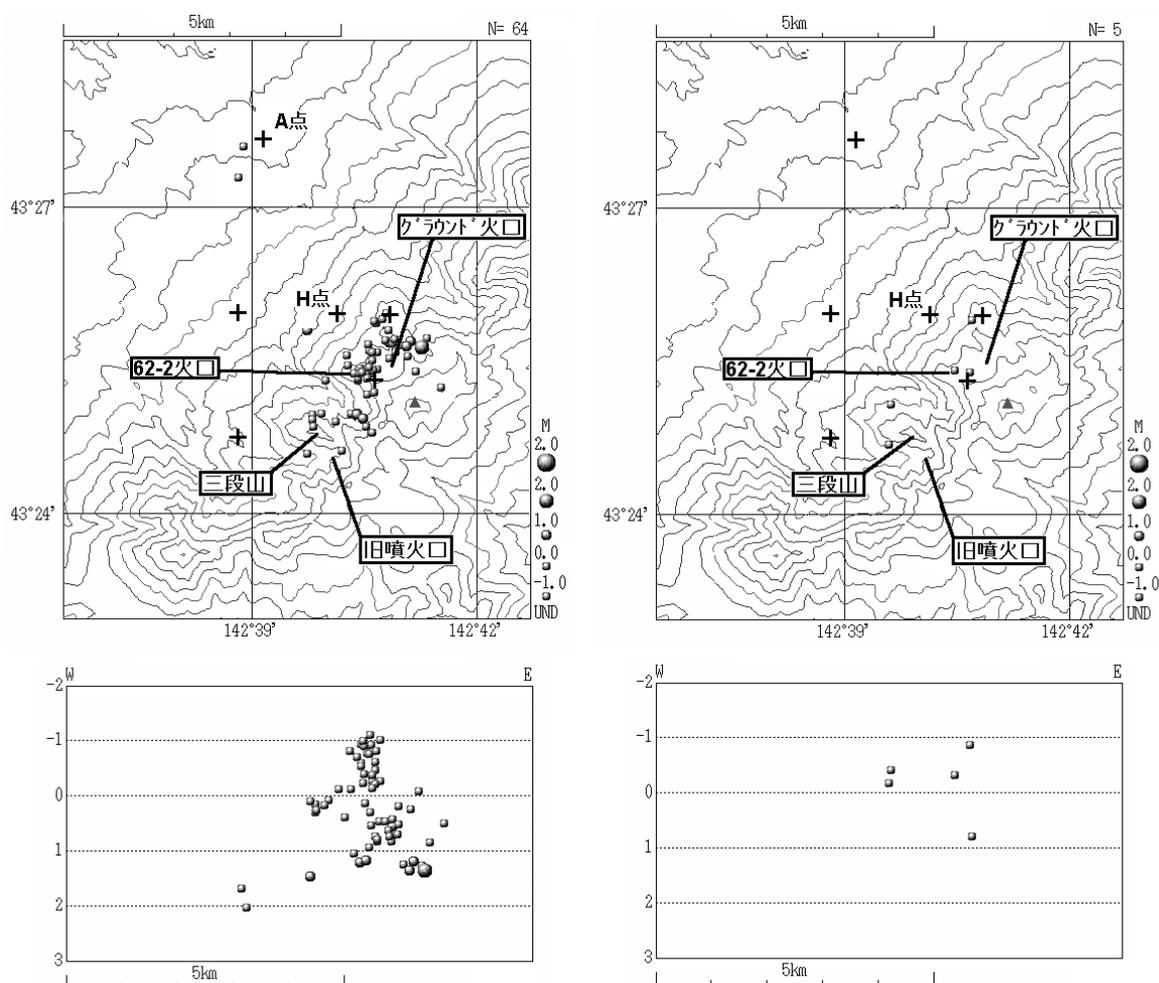
最近の火山活動経過図(1997年1月1日~2005年7月31日) 印はごく小規模な噴火

### 3 地震および微動の発生状況

7 日 05 時 10 分頃から継続時間約 40 秒間の微動が観測されました（最大振幅は H 点で 0.18  $\mu\text{m}$ ）。振幅と継続時間で見ると、今回の微動は 6 月 28 日（継続時間約 50 秒、H 点最大振幅 0.23  $\mu\text{m}$ ）に比べ小規模なものでした。微動の発生源は 62-2 火口周辺の浅部と推定され、同火口周辺浅部における地下水や火山ガスが関係した小規模な現象と考えられます。微動発生時の噴煙の状況は悪天のため不明でしたが、その前後で火山性地震の増加は見られず、また地殻変動にも変化は認められませんでした。

地震・微動の月回数（H 点：火口付近の観測点 A 点：山麓の観測点）

2004～2005 年	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
地震回数 H 点	19	16	11	20	30	60	20	86	14	14	26	17
地震回数 A 点	6	3	3	7	4	4	2	11	4	5	3	4
微動回数 H 点	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1



十勝岳の震源分布図（丸印：震源、+印：地震観測点）

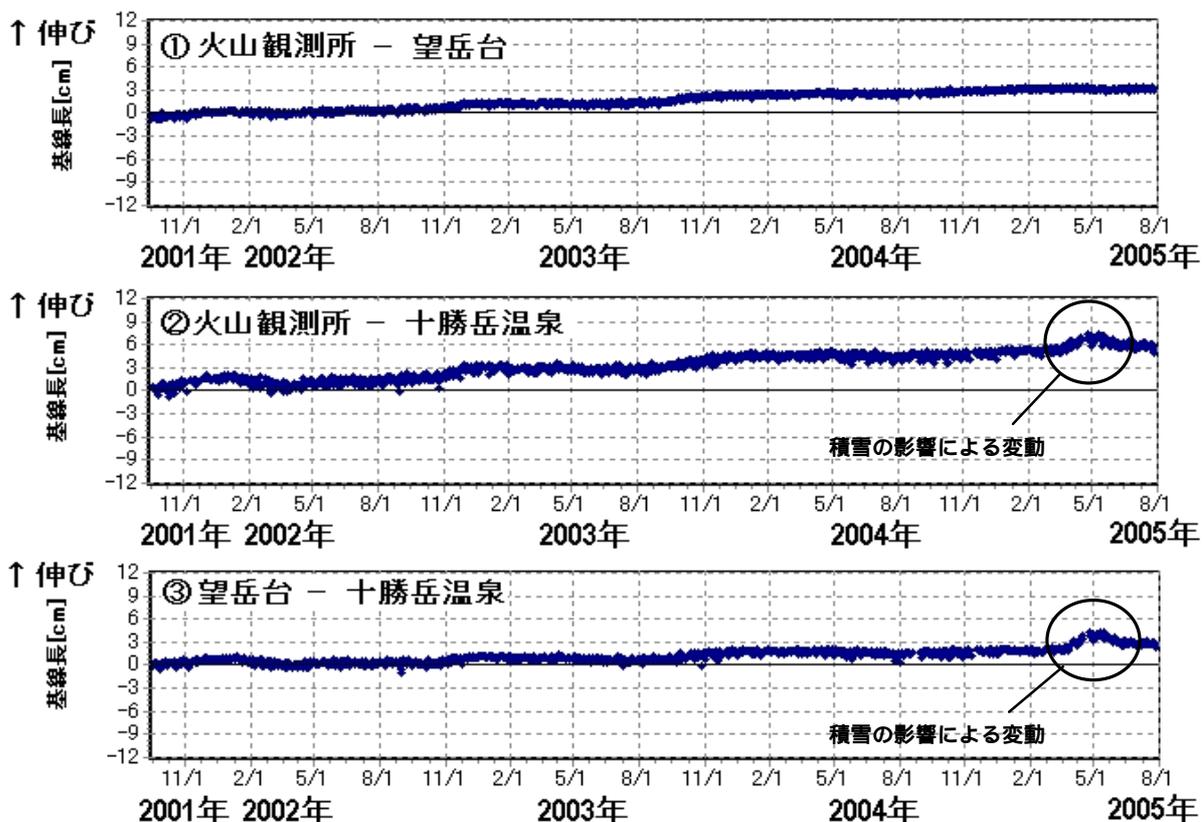
右図は今期間（2005 年 7 月 1 日～31 日）に求まった震源を示しています。

左図は前期間までの 11 ヶ月間（2004 年 8 月 1 日～2005 年 6 月 30 日）に求まった震源を示しています。

震源はグラウンド火口周辺と三段山～旧噴火口周辺の浅部（海面上 1km～海面下 1km 程度）に集中しており、今期間の震源もこれらの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

西麓でのGPS連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。



基線長変化(2001年9月13日~2005年7月31日)

